

心理専攻

専門基礎科目(専攻共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EE001	心理学方法論I	1	2.0	1	春AB	火1,2	3A312	濱口 佳和	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。研究者としての研究倫理、人を対象とする研究における研究倫理の重要性をふくめた講義を行う。	必修 OATB011と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE002	心理学方法論II	1	2.0	1	秋AB	火1,2		濱口 佳和	心理学の測定から解析に至るさまざまな方法論(心理学的測定・調査・実験・観察・相互作用分析など)を集中的に学び、社会・人間事象を解析しうる十分な技能の修得をはかる。この講義の一環として修士論文の中間発表会、最終口答試問の聴講も行う。	必修 OATB012と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE008	心理学インターンシップ	1	1.0	1・2	通年	応談		濱口 佳和	国内外の企業・官公庁や非営利団体などの現場において、心理学関連職としての就労体験を通じて、自らの能力涵養・適性の客観評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。	
01EE009	心理学特別研究A	1	2.0	2	春ABC	随時		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。	必修。平成28年度までの「01EE004 心理学特別研究」に相当する。
01EE010	心理学特別研究B	1	2.0	2	秋ABC	随時		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。	必修。平成28年度までの「01EE004 心理学特別研究」に相当する。
01EE011	心理学特別研究S	6	2.0	2	通年	応談		濱口 佳和	修士論文作成のための科目である。特定テーマを選び、関連する問題領域のレビューを行い、修得した心理学方法論に基づき調査・実験などを実施する。論文としてまとめて研究基礎能力の修得をはかる。	専攻長の承認を得て、「心理学特別研究A」または「心理学特別研究B」に代えることができる。
01EE012	心理学先端研究M1	1	0.5	1・2	通年	集中			心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	
01EE013	心理学先端研究M2	1	0.5	1・2	通年	集中			心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	
01EE014	心理学先端研究M3	1	0.5	1・2	通年	集中			心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	
01EE015	心理学先端研究M4	1	0.5	1・2	通年	集中			心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	
01EE016	心理学キャリア形成M1	1	0.5	1・2	通年	集中		松田 壮一郎	心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	R2.1/26(日)人間系学系棟A202
01EE017	心理学キャリア形成M2	1	0.5	1・2	通年	集中			心理学の最近の特殊テーマについて講義する。	2-5時限
01EE018	心理学英語1	3	1.0	1・2	春学期	随時		濱口 佳和	本科目は、心理専攻の学生が国際的な研究活動を推進していく認知的技能並びに知識を獲得することを目的として、a)心理学に関係するweb教材による学習、あるいはb)国際学会、ワークショップ、実習活動などを通じた学習、実習活動などを通じた学習、に対し、その学修効果が専攻で認められた場合に、単位認定をするものである。	英語で授業。
01EE019	心理学英語2	3	1.0	1・2	秋学期	随時		濱口 佳和	本科目は、心理専攻の学生が国際的な研究活動を推進していく認知的技能並びに知識を獲得することを目的として、a)心理学に関係するweb教材による学習、あるいはb)国際学会、ワークショップ、実習活動などを通じた学習、に対し、その学修効果が専攻で認められた場合に、単位認定をするものである。	英語で授業。

心理基礎コース(知覚・認知心理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EE101	感覚知覚心理学特講	1	2.0	1・2	夏季休業中	集中		綾部 早穂	情報処理論的アプローチに基づき、感覚、選択、記憶、解釈、反応に関する基本的情報処理過程を探る。前年度に発表された海外雑誌論文の中から数報を選び、様々な観点から最新のデータと解釈、知見を学び、討論を行うことにより人間の情報処理の働きの理解を深める。	OATB071と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE104	認知心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	月5,6		原田 悦子	Psychonomic Society, Cognitive Science等各種誌等の認知心理学研究の文献をとりあげ、それに基づく議論を中心に行う。毎回の授業では、1本の論文をとりあげ、当該文献内容のレビューをしながら、認知心理学における考え方の枠組・前提を明確化する。当該論文における問題のとりえ方の特徴とその詳細化を把握し、具体的な研究方法とその分析の方法、得られた結果からの展開の仕方について、批判的に検討する。レビュー担当を務める者は、その論文の背景となる関連研究についても広く深く検討をしていくことが求められる。	OATB073と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EE105	認知心理学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4	研究室	原田 悦子	認知心理学を専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導まで、研究者としての自律的な活動を支援する。	
01EE106	認知心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4	人間A342	原田 悦子	認知心理学を専攻する指導学生の修士論文作成を支援するための演習である。テーマ決定から研究方法、論文作成の指導まで、研究者としての自律的な活動を支援する。	
01EE107	言語心理学特講	1	2.0	1・2					言語心理学の最近の成果を幅広く取り上げて議論する。特に談話分析、会話分析、言説分析の研究成果とそのメタ理論、研究方法について講義する。	2018年度より5年おき開講。
01EE108	言語心理学演習I	2	2.0	1	春AB	月3,4		茂呂 雄二	言語心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設されるものである。テーマの決定・研究方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	
01EE109	言語心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	月3,4		茂呂 雄二	言語心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設されるものである。テーマの決定・研究方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	
01EE110	学習心理学特講	1	2.0	1・2					学習心理学の最新の成果である、状況的学習論について解説する。状況的認知、活動理論、アクターネットワーク理論と学習環境のアレンジメント、パフォーマンス心理学等、最近の状況論的学習研究について論じる。この研究トピックの大元にある、レフ・ヴィゴツキーの発達の学習論やヴィトゲンシュタインの言語論等基礎となる考え方、相互行為分析等の状況的学習研究のための方法論、実際に教員が教室で利用できるように開発されたパフォーマンスゲーム等についても解説する。	西暦偶数年度開講。OATB074と同一。2021年度開講せず。オンライン(オンデマンド型)
01EE111	心理学と認知支援工学特講	1	2.0	1・2	通年	集中		大山 潤爾	感覚知覚心理学や認知心理学の実験心理学的アプローチを応用して、産業界や社会の課題に対するソリューションを提供できる研究の考え方、進め方について解説する。講義に加えて、受講生参加型ディスカッションと体験実習を含む。具体的には、2例以上の企業と実際の共同研究事例に基づいて、ニーズの抽出・心理学的知見との対応・共同研究のテーマと目標の設定・実験計画・データ解析・結果の解釈までをロールプレイ等を交えて学ぶ。	OATB072と同一。オンライン(オンデマンド型)
01EE112	心理学と認知支援工学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4		大山 潤爾	心理学と認知支援工学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。テーマの決定・研究方法・分析方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	
01EE113	心理学と認知支援工学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4		大山 潤爾	心理学と認知支援工学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。テーマの決定・研究方法・分析方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	

心理基礎コース(教育・発達心理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EE201	教育心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		外山 美樹	教育心理学の分野の文献を講読し、教育心理学の方法論や最新の研究成果についての知識を深める。また、授業を通して、発表レジュメのまとめ方、プレゼンテーションの仕方といったような卒業研究に結びつくようなスキルの獲得を目指す。具体的には、教育心理学のテーマに関する論文(英文を含む)や専門書を担当受講生が発表し、そのテーマについて受講生全員で討議する。各受講生が興味を持つ論文(英語、日本語)を2本ずつ程度発表する予定である。	OATB081と同一。対面
01EE202	教育心理学演習I	2	2.0	1	秋AB	水3,4		外山 美樹	教育心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。テーマの決定・研究方法・分析方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	
01EE203	教育心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4	研究室	外山 美樹	教育心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。テーマの決定・研究方法・分析方法・論文作成の指導、および研究者としての自律的な活動の支援をする。	
01EE204	心理統計学特講	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	人間A321	登藤 直弥	心理統計学をはじめ統計学や教育測定学に関する最近の文献を題材にして講義を行い、心理統計学、統計学、教育測定学に関する理解を深める。また、講義で学んだ分析手法等を実際にデータに対して適用してみることを通して、受講者が、自らの研究において、当該手法等を利用できるようにする。	OAS0104と同一。
01EE205	教育測定学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4		登藤 直弥	教育測定学を専攻する指導学生のために開設される演習である。	

01EE206	教育測定学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4		登藤 直弥	教育測定学を専攻する指導学生のために開設される演習である。	
01EE210	青年心理学特講	1	2.0	1・2	春AB	火3,4		佐藤 有耕	青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年心理学に関する知見を深める。すなわち、青年とは誰か、青年期あるいは思春期とはどのような時期かについて心理学的に理解を深め、さらに青年の心理を理解するための多様な観点について身につけ、自分の研究に活用できるようにする。講読する文献は、学位論文などの厚重な研究の講読を基本とし、それ以外にも青年心理学の古典、体系的なテキスト、レビュー論文、最新の学会誌論文、隣接する学問領域の文献などを含める。少人数で実施し、発表や討論などを活用を行う学生参加型の授業とする。	OATB083と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EE211	青年心理学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4	研究室	佐藤 有耕	青年心理学を専攻する指導学生の論文作成指導のために開設する演習である。各自の問題意識を明確にし、テーマの決定、研究方法の検討、論文作成の指導など、研究者としての自律的な活動を実現するまでの演習指導を行う。	
01EE212	青年心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4	研究室	佐藤 有耕	青年心理学を専攻する指導学生の論文作成指導のために開設する演習である。各自の問題意識を明確にし、テーマの決定、研究方法の検討、論文作成の指導など、研究者としての自律的な活動を実現するまでの演習指導を行う。	
01EE213	行動デザイン特講	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6		松田 壮一郎	人間行動の記述、予測、制御を目的とした応用行動分析学を中心に据え、「行動」の機能を分析することを達成目標とする。また、最新の発達研究を行動分析的観点から読み解くことにより、新たな研究パラダイムを創出することも目的とする。行動変容に用いることができる最新のテクノロジーを概観すると共に、他分野(医学・工学など)との協働を通じた新しい研究、及びビジネスの可能性を、ディスカッションを通じて探っていく。他分野との協働により、人の行動変容について、新たな視点を提供し、行動のデザインを共に創造していく。	OATB082と同一。 その他の実施形態 対面とオンライン(同時双方向型)を組み合わせ実施
01EE214	行動デザイン演習I	2	2.0	1	秋AB	水3,4		松田 壮一郎	行動デザインを専攻する指導学生の指導論文を支援するために開設される演習である。国際会議での発表及び、国際誌への投稿を目標とした、研究方法、分析方法、実験フィールドでのヒアリングなど、国際的な活躍が可能な研究行動はもちろん、国内の社会的課題に資する研究行動も含めて支援する。	
01EE215	行動デザイン演習II	2	2.0	2	秋AB	水1,2		松田 壮一郎	行動デザインを専攻する指導学生の指導論文を支援するために開設される演習である。国際会議での発表及び、国際誌への投稿を目標とした、研究方法、分析方法、実験フィールドでのヒアリングなど、国際的な活躍が可能な研究行動はもちろん、国内の社会的課題に資する研究行動も含めて支援する。	

心理基礎コース(社会心理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EE301	社会心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4			対人社会心理学に関する研究成果に関する最近の英語論文を紹介し合い、この分野についての理解を深める。文献は、審査付き学術雑誌に掲載された英語論文とする。受講者は、順番に論文紹介者となり、1本の英語論文の中身を紹介するレジュメを作成する。論文紹介後は、紹介者とほかの受講者との間で討論を行い、紹介した論文の問題点、質の高い論文にするための修正点を提案し合う。	OATB091と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE302	社会心理学演習I	2	2.0	1	春AB	水3,4	研究室	相川 充	社会心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。	
01EE303	社会心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4	研究室	相川 充	社会心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するために開設される演習である。	
01EE307	臨床社会心理学特講(心の健康教育に関する理論と実践)	1	2.0	1・2					心の健康教育に関する概念や理論への理解を深め、心身の健康の維持増進やストレスマネジメント、ウェルビーイングへと結びつく具体的な実践的なアプローチを学習する。特に身体心理学の観点から、身体技法を通して感情制御に結びつく体験的気づきを得ることで、「こころ」と「からだ」への実践的理解を深める。受講者は、関連テーマをまとめて発表し、他の受講者との間で討論する。	西暦偶数年度開講。 OATB092と同一。 2021年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型)
01EE308	臨床社会心理学演習I	2	2.0	1	秋AB	水5,6	研究室		臨床社会心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するための演習である。	
01EE309	臨床社会心理学演習II	2	2.0	2	秋AB	水3,4	人間A307		臨床社会心理学を専攻する指導学生の修士論文の作成を支援するための演習である。	

心理臨床コース

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EE406	臨床心理査定演習I(心理学的アセスメントに関する理論と実践)	2	2.0	1	夏季休業中	集中		濱口 佳和	臨床心理学の研究法で、同時に様々な心理臨床の現場で不可欠の技術でもある心理学的査定の方法について学ぶ。演習Iでは、WISCや田中ビネー等の個別式知能検査、発達検査、ASDやADHDのスクリーニング検査、CBCL等の子どもの問題行動の概括的な評定尺度を扱う。理論的に学習するとともに、グループによる実技指導を通じて検査の具体的手続き等、査定技術の習熟を目指す。	心理臨床コース必修。心理臨床コースの学生に限る。秋学期の実施日程については未定。OATB116と同一。その他の実施形態
01EE407	臨床心理査定演習II	2	2.0	2	春AB	火5,6		青木 佐奈枝, 菅原大地	臨床心理支援において必須とされる心理査定法(検査法)のうち、特にパーソナリティ検査についてその理論と実践方法を学ぶ。MMPI、P-Fステディ、SCTやロールシャッハ・テストなど質問紙法、投影法について理論を学ぶと共に試行方法、結果のまとめ方、解釈、フィードバックの仕方を理解する。さらに、テストバッテリーを用いた事例検討を通して複合的アセスメントおよび支援への活用について習熟を目指す。	心理臨床コース必修。心理臨床コースの学生に限る。OATB117と同一。その他の実施形態
01EE409	児童臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開X)	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		濱口 佳和	児童虐待、不登校、選択性緘黙、いじめ、非行等、学齢期に好発する児童・青年の心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを担当を決めて輪読する。これを通して、家庭と学校における子どもの問題行動や精神疾患に対する取り組みについて、理論と介入方法についての知見の獲得を目的とする。	OATB121と同一。オンライン(同時双方向型)
01EE410	発達臨床心理学特講(教育分野に関する理論と支援の展開Y)	1	2.0	1・2					幼児期から青年期までの子どもの心や行動の諸問題について書かれた内外の専門書、雑誌論文などを取り上げ、担当を決めて輪読する。これを通して、発達精神病理学の基礎理論、発達臨床心理学の研究手法、発達障害、反抗挑戦性障害、うつ病性障害、不安障害等を中心に、病態、アセスメント、介入法などについての知見の獲得を目的とする。	西暦偶数年度開講。OATB122と同一。その他の実施形態 オンラインでオンデマンド型と同時双方向型を組み合わせて実施
01EE415	アセスメント心理学特講 I	1	2.0	1・2					臨床心理支援において必須となる心理アセスメントのうち、主にロールシャッハ・テストについてその理論背景と理論について学び、施行法、スコアリング、結果の整理の仕方、解釈法(質的解釈・継列分析)について学ぶ。また、ロールシャッハ・テストから得られる情報と各種アセスメントやその他の臨床情報の複合解釈の方法と実際について、特に、質的解釈、継列分析、プロトコル分析を中心に学ぶ。進める。	心理臨床コースの学生に限る。西暦偶数年度開講。OATB123と同一。その他の実施形態
01EE417	心理臨床I	1	1.0	1・2	通年	随時		小川 俊樹	心理臨床のアセスメントについての特別な理論や技法を学ぶ。特に医療機関などで高頻度で使用される心理検査(WISC等個別式知能検査、ロールシャッハ・テスト等の投射法検査)を取り上げ、現場における実施上の留意点、検査結果のまとめ、所見の書き方等、実際の心理臨床の現場で通用する水準の技能を指導する。受講生が現場で実施した検査の報告書にもとづいて、討論とスーパービジョンを行う。	心理臨床コースの学生に限る。OATB146と同一。その他の実施形態
01EE418	心理臨床II	1	1.0	1・2	通年	随時		小川 俊樹	心理臨床の面接や心理療法についての特別な理論や技法について学ぶ。特に医療機関などで高頻度で使用される心理療法を取り上げ、現場における実施上の留意点、事例報告のまとめ方等、実際の心理臨床の現場で通用する水準の技能を指導する。受講生が現場で実施した検査の報告書にもとづいて、討論とスーパービジョンを行う。	心理臨床コースの学生に限る。OATB147と同一。その他の実施形態
01EE420	臨床心理学特講 I	1	2.0	1	春AB	金3,4	人間A202	濱口 佳和	臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学の成り立ち、臨床心理学の領域、臨床心理学の方法論、心理臨床の職業倫理、心理臨床家の職業的発達等について、講義と内外の文献精読・討論を行う。以上に加え本講義では、臨床心理学及び心理臨床実務の中で、特に遊戯療法と箱庭療法の理論と実際について講義と内外の文献精読、演習、DVD視聴を通じて理解を深める。さらに、(公財)日本臨床心理士資格認定協会の定める臨床心理士の業務についても講義し、公認心理士との異同について説明する。	心理臨床コース必修。心理臨床コースの学生に限る。OATB101と同一。オンライン(同時双方向型)
01EE421	臨床心理学特講 II	1	2.0	1	秋AB	火5,6		沢宮 容子	臨床心理学特講Iに引き続き、臨床心理学及び心理臨床実務の基礎知識の獲得を目指す。内外における臨床心理学及び心理臨床実務における主要な流派の理論と実際、特に、精神分析的療法、来談者中心療法、行動療法、認知行動療法、日本の心理療法について、講義と内外の文献精読・討論を通じて理解を深める。公認心理師法、公認心理師の職責、公認心理師の活動領域についても講義と討論を行う。	心理臨床コース必修。心理臨床コースの学生に限る。OATB102と同一。オンライン(同時双方向型)
01EE422	臨床心理面接特講 I(心理支援に関する理論と実践)	1	2.0	1	春AB	木5,6		青木 佐奈枝	臨床心理学的介入、援助の技法を学ぶ。理論のみならず、実習的要素も含む。	心理臨床コース必修。心理臨床コースの学生に限る。

01EE423	臨床心理面接特講 II	1	2.0	1	春C	火3,4 金3,4	人間 B301	杉江 征	臨床心理学的介入、援助の技法を学ぶ。理論のみならず、実習的要素も含む。	心理臨床コース必修。 心理臨床コースの学生に限る。
01EE424	精神医学(保健医療分野に関する理論と支援の展開X)	1	1.0	1・2					精神医学の枠組みについて理解を深めるとともに、精神医学の理論、アセスメント、治療について学ぶ。精神医学総論、アルコール・薬物依存、児童・思春期の精神疾患、気分障害、統合失調症、認知症、心因性精神障害、摂食障害、パーソナリティ症状精神病、医療連携、治療等について現役の精神科医が講義を行う。	心理臨床コースの学生に限る。 西暦偶数年度開講。 OATB125と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE425	アセスメント心理学特講 II	1	2.0	1・2	春AB	木1,2		青木 佐奈枝	臨床心理支援において必須となる心理アセスメントのうち、主にロールシャッハ・テストについてその理論背景と理論について学び、施行法、スコアリング、結果の整理の仕方、解釈法(主に数量的解釈)について講義や実習、事例解釈を通して学ぶ。また、ロールシャッハ・テストから得られる情報と各種アセスメントやその他の臨床情報の複合解釈の方法と実際について、特に、数量的解釈を中心に学ぶ。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB124と同一。 その他の実施形態
01EE430	臨床心理家族・地域援助特講(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1	2.0	1・2	秋AB	金3,4		田附 あえか、杉江 征	家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法、および地域社会や集団・組織に働きかける心理学的援助に関する理論と方法を学び、演習等を通して心理臨床実践に活かす。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB141と同一。 その他の実施形態
01EE435	神経心理学特講(保健医療分野に関する理論と支援の展開Y)	1	1.0	1・2	秋C	集中		山田 一夫	神経心理学に関する最新の文献を取り上げて討論し、臨床心理学に関連する生物学的・神経科学的知識ならびに研究方法について学び、理解を深める。受講する学生が興味・関心のある学術論文、または専門書籍の章を担当・紹介し、受講生全員で討論する。	OATB126と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EE440	臨床心理基礎実習	3	2.0	1	春AB秋AB	木3,4		濱口 佳和、沢宮 容子、杉江 征、青木 佐奈枝、菅原 大地、安 婷婷、慶野 遥香、田附 あえか、田中 崇恵、伊里 綾子、小川 聡美	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて実習を行う。教員のインテークに同席し、またインテークカンファレンスに出席してケースを臨床心理学的に見立てる力を養う。	心理臨床コース必修。 心理臨床コースの学生に限る。 OATB111と同一。 その他の実施形態
01EE441	臨床心理実習I(心理実践実習IIC)	3	2.0	2	春AB秋AB	木4		沢宮 容子、杉江 征、青木 佐奈枝、菅原 大地、安 婷婷、慶野 遥香、田附 あえか、田中 崇恵、伊里 綾子	心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の習得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、ケースカンファレンス等を通して、相談者の問題や障害に関する理解を深め、心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	心理臨床コースでは本 科目か 01EE443 発達 臨床心理実習Iどちら か1科目を選択必修。 心理臨床コースの学生 に限る。 OATB112と同一。 その他の実施形態
01EE442	臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	木3		沢宮 容子、杉江 征、青木 佐奈枝、菅原 大地、安 婷婷、慶野 遥香、田附 あえか、田中 崇恵、伊里 綾子	臨床心理実習IIに引き続き、心理的問題を抱えた学外者に有料で相談に応じている心理相談室を用いて臨床支援技術の修得を目的とした実習を行う。実習ではケースを直接担当し、相談者の問題や障害に関する支援アプローチについてグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して学ぶ。心理療法を行うのに必要な技能の習得に努める。	心理臨床コースでは本 科目か 01EE444 発達 臨床心理実習IIどちら か1科目を選択必修。 心理臨床コースの学生 に限る。 OATB113と同一。 その他の実施形態
01EE443	発達臨床心理実習I(心理実践実習IID)	3	2.0	2	春AB秋AB	木3		濱口 佳和、庄司 一子、沢宮 容子、菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室の専任・非常勤相談員によるグループ・スーパービジョンへの出席、発表、討論への参加も含める。	心理臨床コースでは本 科目か 01EE441 臨床 心理実習Iどちらか1科 目を選択必修。心理臨 床コースの学生に限 る。 OATB114と同一。 オンライン(同時双方 向型)
01EE444	発達臨床心理実習II	3	2.0	2	春AB秋AB	木7		濱口 佳和、庄司 一子、沢宮 容子、菅原 大地	教員のスーパービジョンの下に、心理的・行動的問題を抱えた幼児・児童・青年とその保護者を対象として、学内の有料相談機関で臨床心理学的支援活動に参加する。受講生は1ケースごとに構成される支援チームに加わり、受理面接、継続面接、検査面接等の実地体験を積む。支援チームはセラピスト、観察者、親面接陪席者等の役割があり、様々なケースに参加する。プレイ・セラピー、行動療法、SEL、ペアレント・トレーニング等の理論と技法の学習を深める。1セッションあたり事前学習、心理的支援面接、事後学習があり、相談室の専任・非常勤相談員によるグループ・スーパービジョンへの出席、発表、討論への参加も含める。	心理臨床コースでは本 科目か 01EE442 臨床 心理実習IIどちらか1 科目を選択必修。心理 臨床コースの学生に限 る。 OATB115と同一。 オンライン(同時双方 向型)

01EE450	心理実践実習IA	3	2.0	1	通年	随時	沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 小川 俊樹, 中村 聡美	年間を通じて行われる心理相談室及び子ども相談室の運営・管理業務実習、電話受付実習、インテーク実習(陪席)・各ケースの支援実習を通して、心理支援の基礎を学ぶ。随時グループ・スーパーにジョインや個別スーパービジョンを通して、臨床支援原則の理解、地域連携の実践について学ぶ。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB142と同一。 その他の実施形態
01EE451	心理実践実習IB	3	2.0	1	通年	随時	沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 中村 聡美	医療機関等外部実習先の心理面接や心理検査実習、その他の実習、そして実習後のスーパービジョンを通して、個別ケースの支援の実際を学ぶとともに、多職種との連携を実践的に学ぶ。その他相談機関の見学等実習を通して、心理援助職の役割や責務、支援原則など幅広い臨床実践について学ぶ。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB143と同一。 その他の実施形態
01EE452	心理実践実習IIA	3	2.0	2	通年	随時	沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 中村 聡美	年間を通じて行われる学内の心理相談室及び子ども相談室における個別ケースを担当する。心理相談室では主に青年・成人を対象とした面接実習を行い、子ども相談室では、子どもへの心理実践としては、プレイセラピー、行動療法、社会・情緒的教育の担当、行動観察、保護者面接陪席が、保護者には育児相談を行う。実習後に行われるグループスーパービジョン及び個別スーパービジョンを通して、心理支援の基礎・実践についての理解を深める。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB144と同一。 その他の実施形態
01EE453	心理実践実習IIB	3	2.0	2	通年	随時	沢宮 容子, 杉江 征, 濱口 佳和, 青木 佐奈枝, 菅原 大地, 慶野 遥香, 田附 あえか, 田中 崇恵, 小川 俊樹, 中村 聡美	医療相談機関等による実習を通して以下を学ぶ。 1クライアント情報を基に見立て、導入面接、検査実施、報告書作成をスーパービジョンを受けながら行う。2受診陪席やデイケア実習などを通して、個別ケースの支援の実際を学ぶ。3多職種連携の実際を学ぶ。	心理臨床コースの学生に限る。 OATB145と同一。 その他の実施形態